



ロータリーは機会の扉を開く

THE ROTARY CLUB OF PORT NAGOYA

# Weekly Report

## 名古屋みなと

2020~2021

承認 1966年 5月12日 例会日 金曜日 12:30  
 例会場 名古屋マリオットアソシアホテル  
 事務局 TEL 052-221-7020 FAX 052-221-7023  
 E-Mail office@portnagoya-rc.com  
 URL http://www.portnagoya-rc.com  
 会長 高田 和裕 幹事 村田 誠一  
 広報・雑誌・会報委員長 久留宮 秀郎

ROTARY OPENS OPPORTUNITIES. ロータリーは機会の扉を開く R. I. 会長 ホルガー・クナーク



### 臨時増刊号 10号

2021年(令和3年)6月11日(金)

### 会長挨拶



皆さん、こんにちは。今日で、終わりです。とつても、楽しい一年でした。今日が、始まりの日としたら自分にこんな、言葉をかけます。「お前、中々いい会長ライフ送るぞ」と、なぜ、大切なことは後からしか、気づけないのだろう。よく、言われます。コロナ禍だから経験できたこ

ともありました。一番気持ちいいのは、SEXでない。人を信じられること。ロータリーでは、多様性という言葉がよく使われる。しかし、価値観の多様化は衝突を招きやすい。自分の運命を決めるのは自分自身。人生は、進歩。進歩は過去にあるのではなく、将来にある。以下、こんな、お話をセミナーで聞いたことがあります。

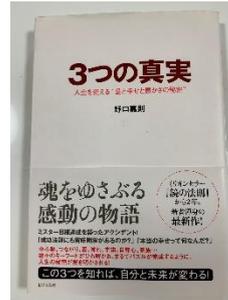
「どうしたら自動車が大量生産できるだろう。」と、繰り返し自問自答していた人物がいました。まだ、馬車が主流だった当時そんなことを考える人は、ほとんどいませんでした。人々から無理だとか、バカとか、変な奴だとか罵られていました。でも、彼は自問し続けました。夢と希望を持って・・・

彼の名は、フォード・モーター創業者 ヘンリー・フォードのお話。彼のように人生を成功へと導くことのできる人物は、共通して、強固な自分への「主となる質問」を明確に持っている。もし、自分に投げかける質問が「なぜ私は失敗してしまうのだろうか?」「なぜいつも出来ないのだろうか?」という質問をしていると、「失敗する」「出来ない」答えを探して失敗のイメージが頭を支配します。どんな、質問を、あなた自身に投げかけるかで、あなたの人生は形作られてしまう。

私も自分に質問してみました。  
 「楽しい、一年だったか。」答えは

「President have been so happy」

今年度、最後の本を一冊紹介させていただきます。  
**3つの真実 野口義則著 k kビジネス社**



「人は皆つながりを求めている。しかし、人から認められることで、つながりを得ようとすれば、人の価値観に振り回され、結局は人を敵にしよう」

今年度、最終例会休会にして、ごめんなさい。

### 幹事報告

村田 誠一君

皆さんこんにちは。今年度最後の例会が休会となり寂しい限りです。ウィークリーで退任の挨拶を掲載しておりますが、7月16日の卓話にて時間を頂ける事になりましたので退任の挨拶を高田会長と準備しております。次年度は7月2日より再開されます。皆さんと再会できるのを楽しみにしております。

## 退会挨拶

小島 清路君



当クラブに入会して24年が経ちます。本当に長い間、お世話になり感謝に堪えません。感謝を込めて振り返りたいと思います。

当クラブには職業奉仕研究会がありましたので、私は、これに直ぐに入会しました。ここで「4つのテスト」と、事業の中心に倫理観・道徳観を備

えるべきであるという「職業奉仕」に出会いました。これが今後の私のロータリー活動及び事務所経営理念に大変大きな影響を与え、当クラブに入会して大変良かったと思っています。

また、会員は基本的に異業種で且つその分野でのリーダー的な経営者でしたので、皆さんと出会って大変多くの刺激を受けました。これが私の現在の経営に大きく役立っていますし、私の財産でもあります。

更に、近年は、原則を変更するような以下の動きがあり、新しい潮流を実感しています。

(1)一業種一人の緩和、(2)事業人でないボランティアの入会可能、(3)禁止が明記されていた会員間の利益供与の復活、(4)職業奉仕を表した第2の標語の中止(日本の理事により復活)、(5)ロータリーの社会奉仕は「個人奉仕」であることを定義している「社会奉仕活動に対する方針 決議 23-34」のロータリー章典等からの抹殺の提案(日本の理事により回避)、(6)I serve から We serve への大転換(ロータリーのライオンズ化)等々

上記項目には私は賛同できませんが、時代とともに変えるべきところは変えてゆくことは必要と思います。この新しい潮流の中で新しいみなとロータリーを構築して行って欲しいと思います。上記のいろいろな出会いを私に与えてくれた当クラブには本当に感謝しています。貴クラブの今後益々のご発展を祈念します。

## 退任挨拶

会長 高田 和裕君



名古屋みなとロータリークラブ55代会長そして、2代目コロナ会長として今日、この日最後まで努めあげることができました。

我儘で、短気で、せっかちで、デブで、何を言ってるかわからない私。今日あるのは、事務局・理事・役員・委員長・メンバー・幹事のおかげです。あり

がとうございます。それと、クラブの代表として地区に出向して下さったメンバー御苦労様でした。

「温故知新」私の直前の芹澤会長の方針です。2代目コロナ会長として、初代コロナ会長・幹事の後ろ姿がとても役に立ちました。コロナ禍のなかで、どうしたらメンバーと気持ちが途切れないかと考え、例会休会の時はウイークリーを出し続けました。そのウイークリーには、入会年度の浅いメンバーに投稿していただきました。コロナ禍のなか、メンバーと繋がりをもつ。広報に重点を置く。そのように、考え広報委員会に重きをおきました。それと、たいしたお話はできなかつたですが、会長挨拶は「週に一度メンバーへのメッセージ」と、位置づけ発信続けました。

2回のウェブ例会。最初はやりたくなかつたけど、一度すると病みつきになります。とても、楽しかつたです。当クラブでは、社会奉仕・国際奉仕と地区補助金のお世話になっています。奉仕活動は、いったものしかわからない、感動があります。地区補助金は、自分の年度の3年前の年度にクラブの年次基金の達成により係数が決まります。未来の会長への贈り物です。

財団委員長に、大きな責任がかかります。今年度は、素晴らしい未来の会長への贈り物を一か月で達成してくれました。市野財団委員長にも本当に感謝です。

親睦の華。夜間例会が、やっと最後に出来ました。55周年記念例会。幹事と親睦委員長に頼んだのは「うまいもの食わせてくれ。式典・ディナー・ショーとメリハリをつけてくれ。みんなに、笑顔で帰ってもらってくれ。そして、安全に。」委員会メンバーと、とても、素晴らしく演出してくれました。

一人ずつ、感謝を述べているとどれだけあってもたりません。最初は、小さな灯火でも、十・百・万と増えれば国中を照らす。

### 「一燈照寓・万燈照国」

自分が、メンバーを引っ張って行って機会の扉を開き行動を起こす。

当初は、その気合でいました。実際はメンバー皆に私が歩く路を照らしてもらっていました。

いま、その路を振り返るとメンバー皆のホッとした笑顔がみえます。

ノミニー時代から動いた事業。鈴木哲さんを団長にした、国際奉仕事業。団長、私・野崎国際奉仕委員長・久留宮広報委員長で、下見に行きました。本番は、いけなかったけど、きっちりしあがりました。

事務局の皆さん。いっぱい電話受けてくれていつもありがとう。

もう、明日から高田の電話はないと・・・思います。いつまでも、お話したいけど そろそろお別れです。素敵な一年を、ありがとうございました。

## 退任挨拶

幹事 村田 誠一君



皆さんこんにちは、退任挨拶をさせていただきます。まずもって名古屋みなとRCの55年目という節目の年に幹事が出来たこと感謝申し上げます。私自身は5年間地区に向しておりましたのでクラブ内の事は判らず。高田会長には準備は全くできないですが良いですか？と聞いてから幹

事になる事を受けました。その結果、高田会長に準備を任せっきりになってしまいました。

高田会長とは若鯨会で知り合って20年ほど経ちます。本人も言っておりましたが、せっかちで、短気で何を言っているのか判らないという3重苦を克服できるのはきっと自分しか居ないという気持ちで邁進してきました。でも、せっかちのおかげで期の始まる前には卓話者は決まっており、準備万端でありました。

そんな準備万端でスタートしましたが8月には新型コロナウイルスで2回休会となり1月から再度休会になりました時には会長にWEBを利用した例会を開催するよう強く要望しました。On Timeで行うのはハードルが高いのでYouTubeで視聴できるようにして会員の皆さんが好きな時に見られるようにしました。現在もHPから閲覧できますので、まだの方はぜひご覧ください。フィリピンの国際奉仕事業と橋本美穂さんのスピーチ上達の卓話があります。特に国際奉仕事業は現地フィリピンに会員の皆さんと訪問することが叶いませんでしたので国際奉仕の記録として残っており良かったと思っております。

パートナーズナイトも忘年家族会も開催できませんでしたが、最後に創立55周年記念例会だけは開催できた事は本当に良かったです。久しぶりにロータリーらしい懇親を図れたかと思えます。最後になりましたが高田年度をお支えいただきました、理事・役員・委員長の皆様に御礼を申し上げます。本来であれば幹事である私がもっとしっかりと諸事取りまとめを行い、クラブを盛り上げて行くところでありましたが、思うようには行きませんでした。1年間皆さんのクラブ運営へのご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



芹澤年度の時に、まわりはコロナ。

「大丈夫だから、早くおいで」と幹事に言い続け打ち合わせしていました。村田幹事なしでは、名古屋みなとロータリークラブの55年目はありませんでした。

村田幹事本当に、ありがとう。

**「生きるというのは、ほんまにしんどて、おもしろいな。」**

NHK 朝ドラ おちょやん 幕の言葉です。

会長退任挨拶も、これで幕です。アンコールは、ありません。

栢森君・岡田君にバトンタッチです。

皆さん、ありがとうございました。

# 名古屋中央ローターアクトクラブ例会報告

名古屋中央ローターアクトクラブ

幹事 都築 瑠衣さん



6月2日(水)夜、今期最後の例会をzoomにて開催しました。最後の例会が直接対面する形で出来なかったのはすごく残念ですが、これもある意味今年らしいかなと感じます。

内容は「後期活動報告」として後期の活動の振り返り、また一年を通してメンバーそれぞれ感想を述べていきました。

今年度は当クラブより地区代表、地区幹事が出たこと、また年次大会のホストや緑の散歩道プロジェクト、45周年記念のおにぎりプロジェクトなど行事が目白押しで、どれも皆さまのご協力がなければ成功できないものでした。改めて感謝を申し上げます。

今年度、地区代表の遠山さんが掲げた地区方針は「いっぽ」でした。

コロナ渦の中で始まった今年度は制限も多く、その中でどういった活動をしていくのか。ローターアクトに限らず、ロータリークラブも新しい「いっぽ」を踏み出さざるを得なかった一年だったと思います。

私たち名古屋中央 RAC は、45周年記念事業として SNS を使った非接触型の社会奉仕活動を行ったり、毎年行ってきた献血活動ができなかった代わりにフェアトレードデー・なごやというイベントにボランティア参加したり、Zoom 例会も積極的に取り入れ、慣れないことにも試行錯誤しながら挑戦して、大きな「いっぽ」を踏み出せたかなと感じています。

直接顔を合わせる機会もあまり多くなく、その中で逆に周りの方々の温かさに気づき、支えられることもたくさんありました。

この先の状況は予想できませんが、来る新年度もローターアクトらしく元気に柔軟に、活動していきたいと思えます。

最後になってしまいましたが、今年度も名古屋みなと RC の皆様にはたくさんのお力添えをいただき、本当にありがとうございました。

特に緑の散歩道プロジェクトは、みなと RC の皆様のご協力がなければ成功しないものでした。周年行事にもお招きいただき、心より感謝申し上げます。

個人的には、卓話者として例会にお招きいただいたことも心に残っています。すごく緊張しましたが、とてもいい経験になりました。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

毎月載せていただいた weekly の活動報告も、これで終わりかと思うと少し寂しい気持ちですが、次回より来期幹事の岩城が担当致しますので、皆様お楽しみに。

来期最初の例会は 7/7 (水)、今池ガスビルにての開催を予定しております。皆様にお会いできることを楽しみにしております。

月	日	今後の例会予定
6	18	休会
	25	休会
7	2	<b>新年度方針発表</b> 会長 栢森 雅勝君 幹事 岡田 雅君 名古屋中央 RAC 17F「コスモス」
	9	<b>第1回クラブフォーラム</b> 17F「コスモス」
	16	卓話 17F「コスモス」
	23	休会
	30	休会